

# 利用農家から見た公共牧場の有用性

群馬県吾妻郡長野原町 牧山 明

平成30年8月6日

## ○経歴

- 1980年(S55)3月 農林水産省農業者大学校卒業  
1981年(S56)7月 アメリカ合衆国ワシントン州にて酪農研修  
1983年(S58)6月 帰国後、実家にて就農  
1999年(H11)4月 長野原町議会議員(現在、通算4期目)  
・総務文教常任委員会(副委員長)  
・国県道改良等促進特別委員会(委員長) 等を歴任  
2016年(H28)10月 「浅間家畜育成牧場及び周辺地域活性化委員会」  
構成員(利用農家代表)

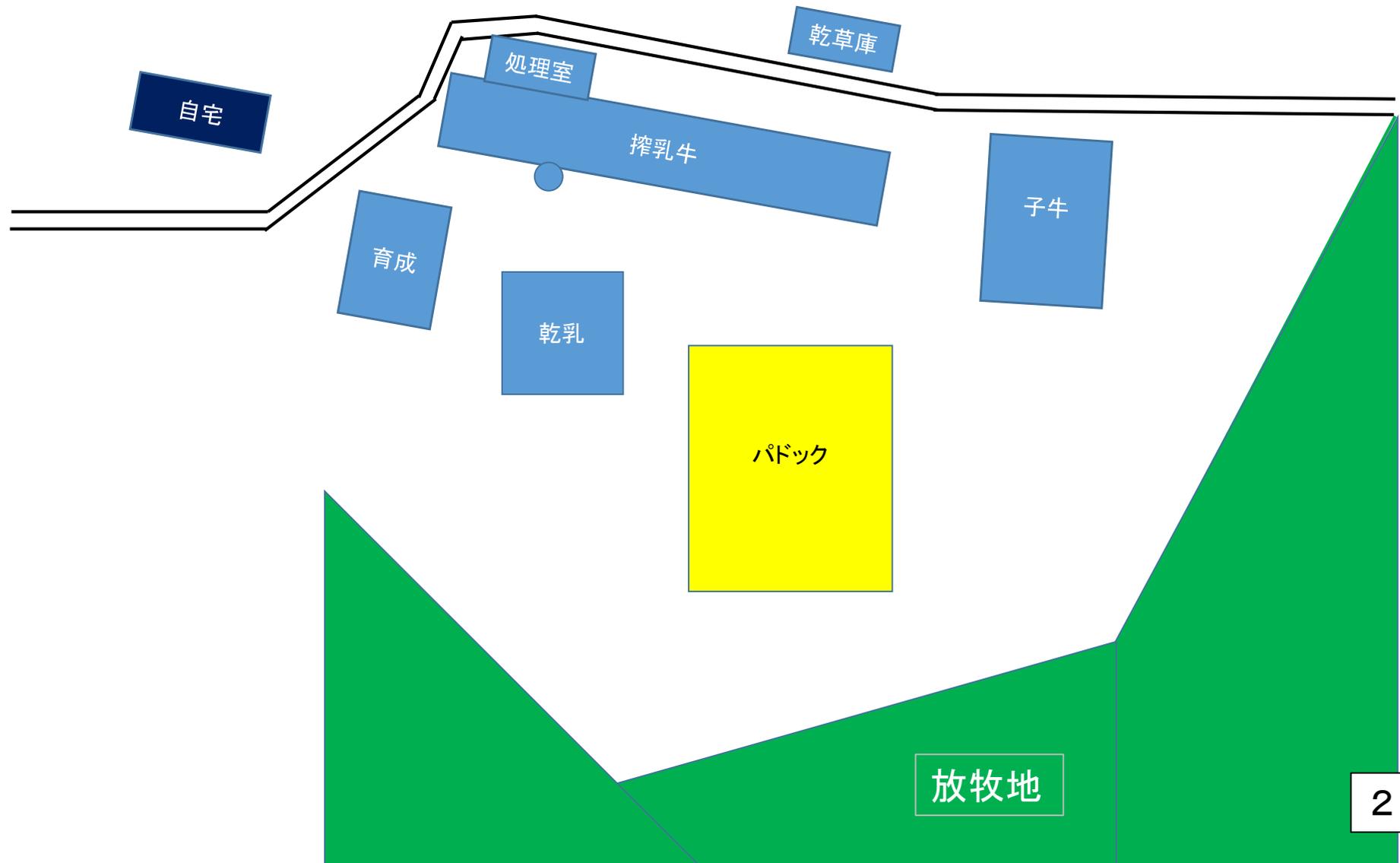
## ○経営概要(吾妻牧場)

- ・所在地 群馬県吾妻郡長野原町応桑
- ・経営形態 家族経営(両親、本人、妻)
- ・飼養形態 酪農・繁殖肉用牛複合
- ・飼養頭数 乳用牛:成牛45頭、育成牛25頭  
肉用牛:成牛16頭、育成牛15頭
- ・飼料作付面積  
デントコーン4ha、牧草12ha  
林間放牧地10ha

★浅間牧場への預託経歴 20年以上



# 牛舎等位置図



# 擠乳牛舍



# 牛乳処理室



# 乾乳



# パドック



# 子牛



# 放牧場



# 放牧地の侵食



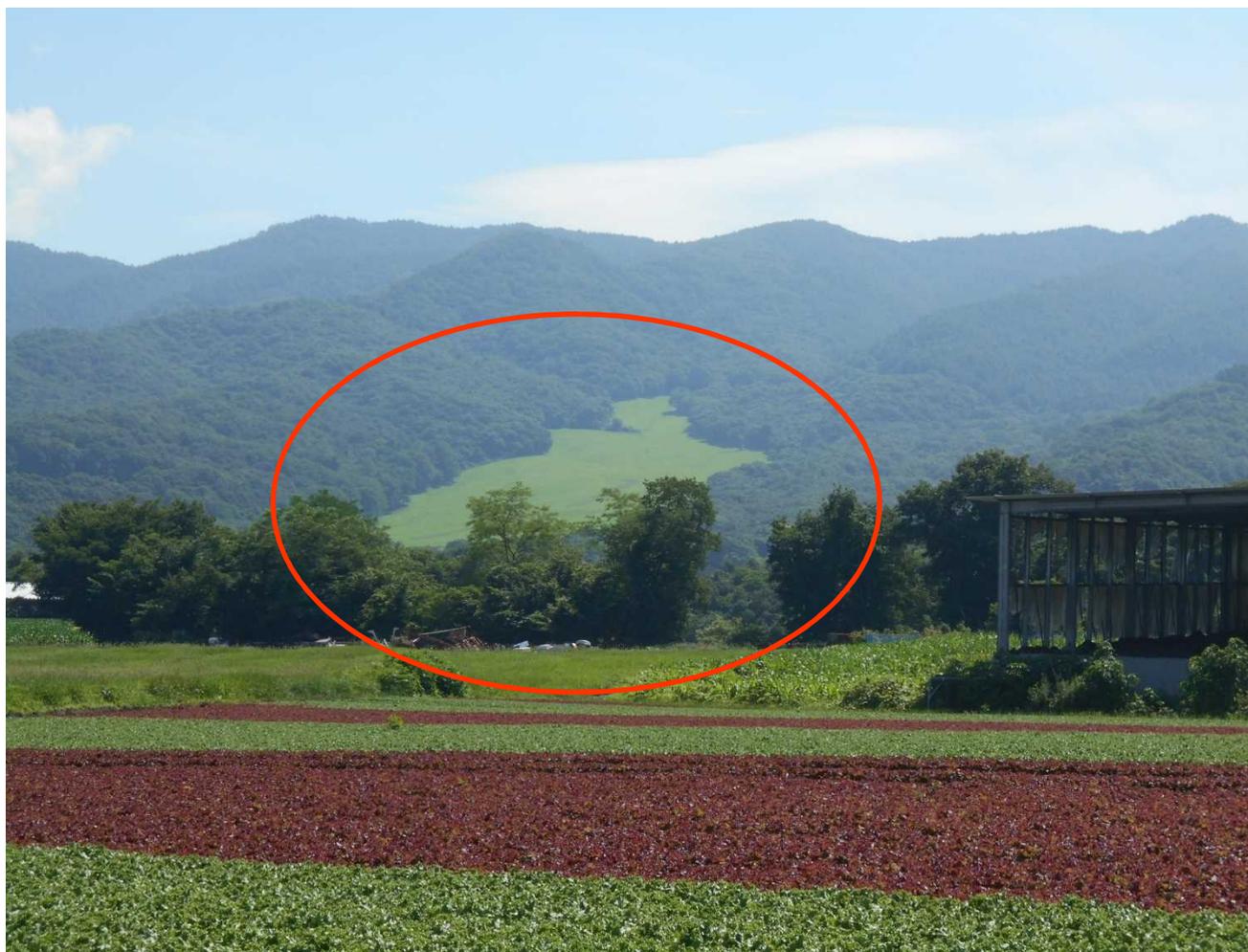
# 乾草



# 共同草地

・面積: 16ha

10農場で収穫、  
調製を実施



# 酪農ヘルパー



# 公共牧場の活用

## 公共牧場と農場の位置

- ・浅間牧場まで9.5km  
車で 30分



牧場まで近い

- ・毎年、12～18頭程度  
を預託(育成牛全頭)



# 浅间牧場の受託基準

- ・7カ月齢～15カ月齢
- ・ヨーネ病、白血病、牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)検査が陰性であること
  - \* 白血病は、受託期間中も検査を実施し、陽性のものは退牧
- ・牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢・粘膜病 I・II 型、牛パラインフルエンザ及び牛RSウイルス感染症の予防接種済みのもの
- ・発育曲線の下限值を上回るもの



ヨーネ病、白血病、BVD-MDはフリー

# 放牧馴致の実施

入牧前に舎飼い → パドック → 放牧

- ・環境変化への順応（浅間牧場に近い環境）
- ・生草給与への対応 第一胃内微生物の適応
- ・連動スタンション



順調な発育 ⇒ 良好な発情



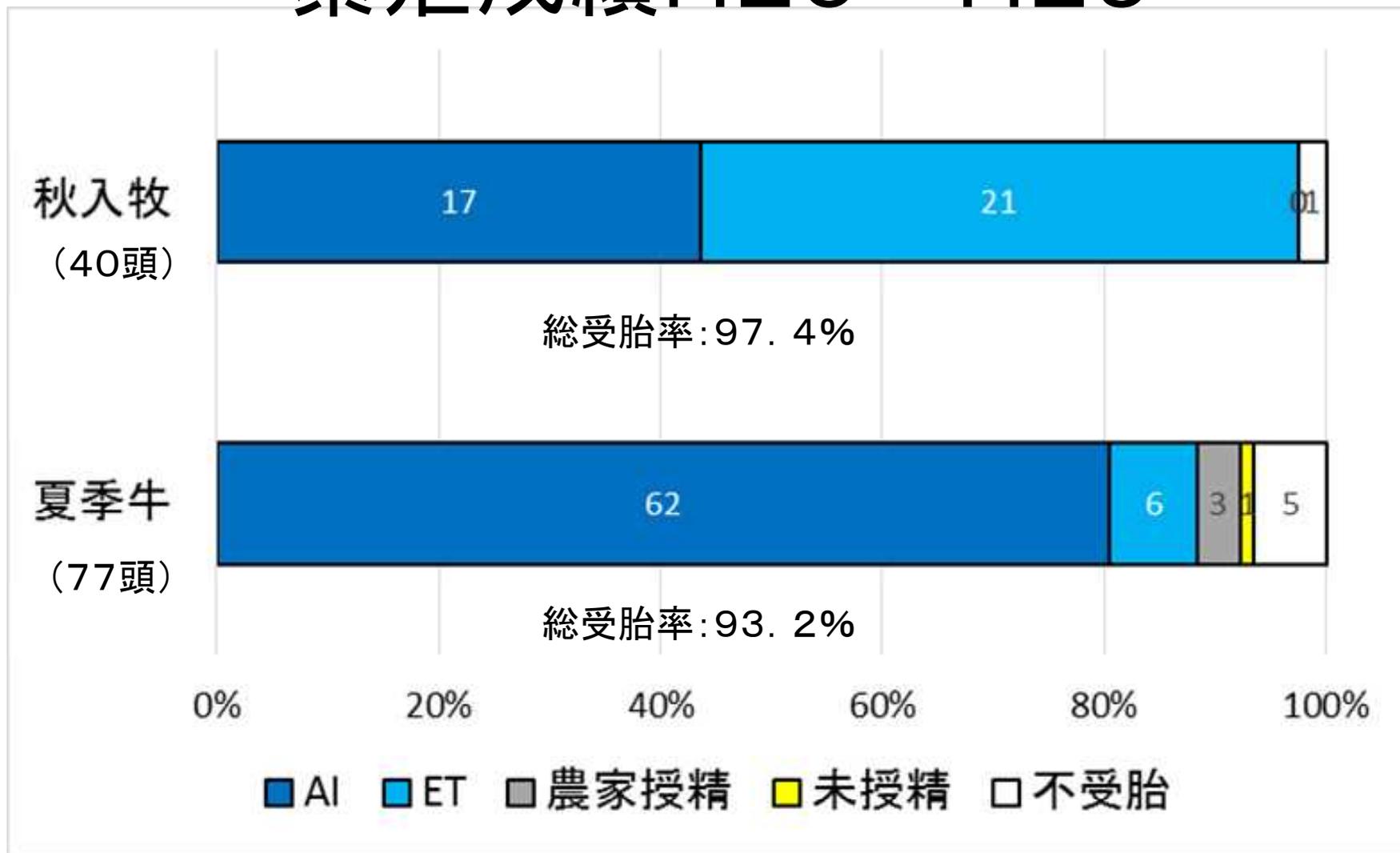
受胎率↑

# 牧場預託料金

- ・夏季牛 4月25日入牧し、10月24日に退牧  
183日 × 350円 = 64,050円
  - ・秋入牧 10月24日に入牧し、翌年10月23日に退牧  
8日 × 350円 = 2,800円 10月31日まで  
181日 × 720円 = 130,320円 冬季舎飼  
176日 × 460円 = 80,960円 越冬牛  
夏季放牧
- 計 214,080円

- \* 家畜人工授精手数料 : 1,020円
- 家畜受精卵移植手数料 : 6,170円

# 繁殖成績H20～H29



秋入牧: 10月に入牧し、翌年の10月までに退牧  
夏季牛: 4月に入牧し、10月に退牧

## 公共牧場の有用性

- ・労働時間の削減
- ・肉用繁殖の飼養
- ・飼養コスト低減
- ・退牧後の効果（分娩、乳量等）

## 公共牧場に期待すること

An aerial photograph of a vast, green field. A narrow, paved road runs diagonally from the bottom right towards the center of the frame. To the right of the road, there is a dense line of trees. In the background, a range of mountains is visible under a cloudy sky. The overall scene is peaceful and rural.

ご静聴ありがとうございました。